

管機連 Daily News

2020年12月25日(金)

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆出生数、21年に80万人割れも コロナで少子化想定超え

・日本の少子化が想定を超える速さで進んでいる。結婚しない人の増加や晩婚化に新型コロナウイルスの感染拡大のため妊娠を控える傾向が重なり、2021年の年間出生数は80万人を割り込む試算が出てきた。現実になれば公的推計より10年以上も少子化が前倒しになり、人口減に拍車がかかる。

◆首相、時短要請「罰則は必要」 新型コロナ特措法改正

・菅義偉首相は24日、都内で開いた内外情勢調査会で、新型コロナウイルスに対応する特別措置法の改正に関し「罰則と給付金はセットで必要ではないか」と述べた。知事による店舗への営業時間の短縮や休業要請の実効性を確保するため、罰則が必要だとの認識を示した。特措法改正案を「次期国会に提出して、成立させたい」と強調した。

■自治体の脱炭素、8分野で技術導入 政府行程表素案

・政府が掲げる2050年の温暖化ガス排出量実質ゼロの実現に向けた、地方自治体などの取り組みをまとめた「地域脱炭素ロードマップ(行程表)」の素案が24日、明らかになった。住まいや生活衛生インフラなど8分野について、今後5年間に集中して技術導入を進める。25年に脱炭素を実現したモデルケースをつくり、50年までに全国への普及を目指す。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆全国の生コン出荷、2カ月ぶり減少 11月

・全国生コンクリート工業組合連合会が24日発表した11月の全国の生コンクリート出荷量は前年同月比8.2%減の約694万6千立方メートルだった。2カ月ぶりに前年を下回った。東京都を含む関東1区が落ち込んだ。新型コロナの影響で一部工事が停滞している。北陸地区も減少した。北陸新幹線の延伸工事が減った。

◆10月の電子部品出荷額、4%増加

・電子情報技術産業協会(JEITA)は24日、10月の日本メーカーの電子部品の出荷額が前年同月比4%増の3355億円だったと発表。2カ月連続で前年同月を上回った。日本と米国向けが前年同月を上回り、自動車の生産が急回復した影響が出たとみられる。部品別では車のドアなどに使われるアクチュエーターの需要が回復、同月比15%増の264億円に拡大。

◆「建築開口部協会」発足 カーテンウォール・防火開口部協会と建築改装協会が合併

・カーテンウォール・防火開口部協会(力防協)と建築改装協会(改装協)は、12月1日付で合併し、新たに建築開口部協会として発足。今回の合併により、両協会の事業を引き継ぎ発展させるとともに、防災や安全の向上など開口部等に関する課題に取り組み、安全で快適な建築物整備に寄与していく。会長にはYKK AP代表取締役社長・堀秀充氏が就任。

《 注目商品 》

■YKK AP、ビル主要商品のBIMパーツをホームページにて公開開始

・BIM(ビム)のソフトウェア上で利用できるビル主要商品のBIMパーツを12月24日より当社ホームページにて公開。当社のBIMパーツは、一般的なBIMパーツでは表現できないリアルな形状情報や属性情報を保有、これらの情報を活用することで業務効率の向上効果が期待できる。



■工機HD、「HiKOKI」からコードレスロータリハンマドリル「DH 18DPA/12DD」

・コンクリートや石材の穿孔(せんこう)(穴あけ)に使用する電動工具。主にコンクリート用ビスを施工する際に用いる3.4mmや4.3mmなど小径錐の穴あけに、小形・軽量で取り回し性に優れた製品。上向き・横向き作業での疲労を軽減し、快適な作業を実現。



■タカラスタンダード、新築マンション向け専用浴室シリーズ「リラクシア MPタイプ」

・新築マンション市場における浴室のシェア向上を図るため、同市場向けとして初めて専用シリーズ化したシステムバス「リラクシア MPタイプ」を12月21日に発売。新築マンションの納まりを再検証し、改善を加えた新シリーズを発売。

